

アジア・アフリカ ラテンアメリカ

■ 2面	ASEAN 市民社会会議
■ 3面	日本平和大会
■ 4面	中国の旅
■ 5面	会員を増やしています
■ 6面	列島 AALA
■ 7面	沖縄県民との連帯・支援ツアー
■ 8面	私と AALA

日本アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会機関紙

2017年12月1日 No.689

安倍9条改憲阻止!



国会大包囲に4万人 全国で集会開催

日本国憲法公布の記念日の11月3日、「安倍9条改憲 NO!」国会大包囲行動に4万人が参加し、改憲の発議を許さない決意を固めました。韓国「主権者国民会議」顧問の金詠鎬（キムヨンホ）さんは「9条はアジアの平和の宝であり、戦後の世界平和体制の柱。9条を守ること

はアジアと世界にとって重要な問題」と、述べ連帯のあいさつをしました。

9条改憲の発議を許さないため「3000万全国統一署名」と「戦争するな!どの国も 国際署名」を進めましょう。集会には多数の日本 AALA 会員が全国で参加しました。

米国の圧力と干渉に反対する 中南米カリブ海との連帯の夕べ



右からニカラ
グア、キュー
バ、ベネズエ
ラの駐日大使
とボリビアの
参事官

10月12日、東京のキューバ大使館でキューバ、ニカラグア、ベネズエラの三駐日大使が参加する「連帯の夕べ」が開かれました。さる10月カラカスでひらかれたベネズエラの主権と平和を守る国際会議のよびかけに応じて連帯しようという集まりでしたが、同じように米国の圧力と不当な干渉に直面しているキューバとニカラグアの大使が共同で日本の友好団体によびかけたもので、招待に応じて日本 AALA の田中代表理事や東京 AALA の松井事務局長ほか多くの会員が参加しました。

日本 AALA 映画と講演会

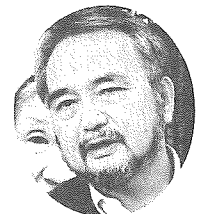
パレスチナの集い 映画「ヘブロンー50年の占領」

日時 12月9日(土)
13:30 ~ 16:30

会場 東京・中野サンプラザ7階
第10研修室
(JR中央線・東京メトロ東西線中野駅下車北口徒歩2分)

参加費 1000円

講師 ジャーナリスト
土井敏邦さん



東アジアの平和をめざして 東南アジアの団体と交流



ASEAN 市民社会会議/
人民フォーラム (ACSC/APF2017) に参加して
代表理事・田中靖宏

人民フォーラム
(左から3人目)
ベトナム代表と

東アジア首脳会議 (EAS) と並行して 11 月 10 ~ 14 日にマニラで開かれた「ASEAN 市民社会会議 / 人民フォーラム (ACSC/APF2017)」に参加して、東南アジア各国の NGO の代表や学者、市民グループの青年たちと交流してきました。ACSC/APF は「人民に依拠する」ことを盛り込んだ ASEAN 憲章にそって 11 年前から毎年開かれているもので、市民組織の要求をまとめて首脳会議に提出することになっています。今年も加盟 10 カ国に東チモールを加えた 11 カ国から 800 人近い人々が参加して熱い論議をかわしました。

私はオブザーバーとしての参加でしたが、日本と北東アジアの情勢を報告してほしいとの主催者からの要請があって、「平和と人間の安全保障」のセッションにパネリストの 1 人として参加し、朝鮮半島や日本の情勢とともに、東アジアの平和共同体をめざす日本 AALA の活動を紹介しました。

北東アジアと日本の情勢を報告

フィリピンの代表は、南シナ海の緊張と領有権問題の解決にむけた人民連帯の方向、ベトナムの代表がメコン開発での 3 国の人民協力、東チモールの代表は、植民地支配の後遺として男女差別の克服にむけた協力を報告しました。

討論ではコーディネーターからすかさず安倍政権の 9 条改憲の本気度と可能性についての質問があり、日本の軍事的な役割の拡大に懸念の強さがわかりました。また東チモールの代表からは、旧日本軍の性奴隷制度についての言及があり、過去の戦争の歴史も若い世代に引き継がれていることも認識できました。両方を通じて、憲法 9 条が過去の戦争への反省と一体であること、それが東アジアの平和構築の基礎であることも改めて思いしらされました。

日本の進出に多くの質問

ただ総じて日本についての認識は、かつての戦争加害者としてよりも、現在の東南アジアへの最大の経済援助国としてのイメージの方が強く、この点は中国や韓国とは違って、若い人たちのなかには、日本がもっと積極的にアジアに進出してほしいと考えている人が多いこともわかりました。安全保障に国際的な役割を果たしてもらうことがなぜ悪いのかといった青年の疑問にも直面しました。

セッションでの会場からの発言では、経済開発を名目にした少数民族排除とたたかっているミャンマーの代表が、日本の援助が弾圧の口実に使われているので、ともにたたかってほしいと呼びかけられたのには、ビックリし複雑な思いにかられました。さらにカンボ

ジアの代表からは、かつてのポルト政権による大量虐殺を経験した国民は、政府間の平和条約や協定だけで平和が維持できるとはとうてい考えられないし、平和の原則を確認させるだけの運動は認識があまいのではないかと批判も受けました。

人民の立場からの ASEAN を求める

ASEAN の人々は、憲章にもられた「人民のための共同体」という理想が、守られていないだけでなく、差別や貧困、搾取や抑圧の人権侵害、開発優先の環境破壊がすすんでいて、人民福祉の点でも、民主主義の点でも、むしろ後退しているという問題意識が強いのが現状です。これは参加している市民組織の立場からある意味で当然ですが、政府への要求として「主権の尊重」や「内政不干涉」といった ASEAN の原則が「時代遅れになり、人民連帯の障害になっている」という認識には、考えさせられました。日本 AALA は、平和の原則を「主権の尊重」や「内政不干涉」として大事にしていると強調して、人民連帯の原則にどう位置付けるかをめぐって、討論になりました。

パネル討論のあと、後半部ではフィリピン大学のシンプラン教授が「米中対立と東南アジア」と題して講演し、ASEAN が両者の覇権抗争に巻き込まれることなく、自主性を堅持して主導性を発揮する意義を強調しました。千人近くはいるホテルの大ホールで、スクリーンに映し出された政府への要望書 (声明) 案をめぐって、青年たちが英語で白熱した討論を繰り広げているのを見て、北東アジアには北朝鮮を含めて、なぜこういう討論と人民連帯の枠組みができないのだろうか、そのギャップの大きさを思い知らされた 4 日間でした。



非核・平和の 北東アジアの展望を語る

2017 日本平和大会 in 岩国

「なくそう!日米軍事同盟・米軍基地 2017年日本平和大会 in 岩国」が10月28、29日、山口県防府市、岩国市で開催され、開会集会には約1000人が参加。

29日、日本AALAが担当する「国際交流シンポジウム」が「非核・平和の北東アジアの展望を考える」をテーマに開かれ、韓国・参与連帯共同事務処長のパク・チョンウンさんと日本平和委員会常任理事の川田忠明さんの二人のパネリストが報告、非核・平和の北東アジアをどう実現するかを議論しました。

パク・チョンウンさん (写真右から2人目)の発言 戦争は起こしてはならない

朝鮮半島の軍事的危機はいつそう悪化している。北朝鮮の核実験・ミサイル発射がつづき、アメリカの対北圧迫と制裁が続いている中で、ムン・ジェイン政府もそれに同調し、北朝鮮との対話をする時ではないとしている。朝鮮半島で軍事衝突が起きれば韓国市民の安全が脅かされると誰もが認識している。圧迫と制裁は最悪の事態を引き起こすことになる。パク・クネ政権のときの南北間のホットラインすらも断絶しているの、些細な誤解や衝突が大きな軍事衝突に発展する可能性をはらんでいる。韓国では、いわゆる『北風』という北朝鮮の挑発が国内政治と選挙に影響はなかったが、日本の総選挙では少なからず影響を与えたと思う。安倍政府が憲法9条の改憲構想を明らかにしていること

は憂慮せざるをえない。ムン・ジェイン政権も北朝鮮の核とミサイルの脅威に対応するというため、軍事力を増強しようとしていることも憂慮すべきことだ。韓国市民はこのような難しい状況のなかで、どのようにすればよいか議論している。ピョンチャンオリンピック中、国際社会の紛争を中断する。韓米軍事演習の中止と同時に北朝鮮の核・ミサイル実験の凍結をおこなうという危機回避のための平和的提案をおこなう。どんなことがあっても朝鮮半島で戦争は起こしてはならない。核兵器禁止条約の採択に向けての取り組みと、北東アジアの緊張を緩和させるため韓国と日本の市民社会は共同の努力をしなければならない。(また、日本のJアラートが各地で鳴ったことへの質問には)日本はあまりにも敏感だ。韓国では南北での対話の経験があるため、冷静に対応している。

川田忠明さん(写真中央)の発言 朝鮮半島の非核化の実現を

総選挙で自公が圧勝したと言うが、比例で自民党を支持したのは有権者の17%に過ぎず、その半数の人が北朝鮮政策を支持したとすれば、8.5%に過ぎない。安倍政権の北朝鮮政策が支持された結果ではない。北朝鮮問題では『戦争の回避』と言うのが最優先課題だ。朝鮮半島で戦争が起きたら死者は数10万~100万に及ぶと言われている。武力を行使してならないとなれば、外交的解決以外に道はない。米朝がいま、緊張を高

めあう言動をおこなっており武力衝突が起こる可能性もある。米朝の直接対話が必要だ。トランプと金正恩を見ているとこの2人が話し合うと思えないと言う人もいるが、その可能性はある。ロシアにいる北朝鮮のチェ・ソンヒ北米局長は「対話がないように見えるが、実際はある」と発言している。マティス米国防長官は「大統領の司令は外交努力を追求することだ。そのために、経済制裁を求めるものだ」と述べている。お互いが条件を出しているからだ。米国は、北朝鮮が非核化への意思表示をすること。(核開発を凍結)北朝鮮は、米国が敵視政策を止めること。(米韓軍事演習中止)である。多くの人たちは無条件で対話をやりなさいと言っている。対話の可能性はある。リ・スヨン北朝鮮外相は「米韓合同軍事演習を中止すれば、核実験を中止する」と言っている。北朝鮮の核ミサイル開発のねらいは、現体制維持の保障と米朝平和協定を結ぶことである。北朝鮮は非核化するにあたっての5つの条件を出しているが、「核兵器による威嚇や使用をおこなわない確約(1994年、米朝枠組み合意)」などの再確認をすれば非核化への一歩を踏み出すことはできる。2005年の6ヵ国協議共同声明に立ち戻ることである。そうすれば、北東アジアの安全保障の枠組みが見通せる。朝鮮半島の非核化を実現していく上で、核兵器禁止条約で迫っていくことが大事だ。被爆国日本が核兵器禁止条約に参加していくことが、説得力を持ったやり方である。(常任理事 松井幸博)



ずっしり重い 加害と「慰安婦」の視点でめぐる 中国の旅

『慰安婦』問題とジェンダー平等ゼミナール代表・吉川春子



利済巷慰安婦資料館朴永心像の前

日本侵略の爪痕残る 南京、上海

今年のフィールドワークとして私達は10月20日から24日まで上海・南京へ行きました。2012年9月のポーランド・ドイツに続いて2回目の海外旅行です。参加者は27名でした。突如として国会の解散総選挙が入り、キャンセルせざるを得ない方が数名出ました。

南京市では南京大虐殺祈念館は改修中で入館できませんでしたが、揚子江の中山埠頭の大虐殺現場に足を運びました。誰が揚げたか、青空には風が一つ悠然と泳いでいました。

日本軍の蛮行を逃れて大勢の中国人が逃げ込んだ「国際安全区」に行きました。その中にあるミッションスクール・旧金陵学院では、数万の中国人女性を強姦から守ったミニ・ヴォトリン学長の銅像の前に脱帽しました。彼女は精神に異常をきたし米国に帰国しましたが症状回復せず、1940年、日本の敗戦を見ることなくガス自殺を遂げました。また中国人を虐殺から守り南京のシンドララーといわれたジョン・ラーベの記念館を訪問しました。ジーメンズ社の支店長でナチス党員であった彼は今なお多くの尊敬を集めていますが、ドイツに帰国後ナチス政権から厳しい取り調べを受け、戦後は不遇のうちに生涯を閉じました。

また市民の運動で保存された旧日本軍初の「慰安所」の「大一サロン」の建物を見学しました。しゃれた建

物には洗濯物が干してあり、ここで生活する人々がいる様子でした。

2つの「慰安婦資料館」に 心揺さぶられて…

2015年12月にオープンした南

京市の「利済巷慰安婦資料館」は2000㎡の敷地に8棟の建物があり、世界最大規模の資料館です。「日本の帝国主義者の起こした侵略戦争で朝鮮人ほか多くの女性の人権を踏みじった事の反省を促すために建てた」(館長)ものです。

会員を増やしています

千葉、福井からの報告です。

千葉

「AALAのこと、もっと広く知らせよう!」 を合言葉に

「増やしたと喜んだら、退会…」このくり返しでなかなか思うように会員が増えていきません。全国のみなさん、どうやって会員や読者を増やしていますか?千葉県 AALA では、次のようなことに重きを置いて拡大をしています。

- 1) 講演会に参加できない会員に、どんなことが話されたかわかるように講演要旨を掲載して機関紙を充実させよう。その機関紙でもっと会員、読者を拡大して、AALA の存在を広く知らせよう。財政的には会員1人分≒読者3人分だから、会員も追求するけど、読者をもっともっと増やそう。
- 2) 「千葉県版の AALA 入会のしおり」をつくらう。やっぱり身近な千葉県ではどんな活動をしているのかわからないと、そしてその活動内容に興味をわかないと入会してくれま



千葉 AALA パンフレット

せん。この2~3年来の課題がようやく実現しそうで、11月の総会に提案します。

3) 拡大に動く人が1人2人と増えないと、役員だけの拡大行動では難しい。これが難問です。そのためにはまず、今年の総会までに前総会時の会員・読者数を超えて勢いをつけようと、現在奮闘中です。

昨年10月から今年10月までの間に会員・読者が、31名増、33名減。

建物前には強烈な3人の女性の銅像があります。妊娠して大きなおなかをしている女性に2人の女性を取りすがり泣き崩れる姿です。モデルは北朝鮮出身の「慰安婦」、朴永心さんです。

彼女はビルマ戦線の一環ともいえる雲南省拉孟の玉碎寸前に逃げ出し、中国兵に保護された時に妊娠して死んでいました。1945年、昆明の捕虜収容所で撮影された彼女の写真は素足で、目はうつろで臨月と思われる大きなお腹では歩行は相当困難だった事でしょう。2003年朴さんが南京に来て「ここ(東雲慰安所2階19号室)に私は『慰安婦』としていた」との証言がきっかけでこの資料館は建てられたのです。ちなみに18号「故郷楼慰安所」は日本人「慰安婦」のみがいましたが、彼女たち

の存在を示すものは何も残っていませんでした。

上海師範大学構内の 「中国慰安婦資料館」

昭和の流行歌にも歌われ、日本人にはなじみ深い都市、上海。上海師範大学の広いキャンパスの一角に中国人と朝鮮人2人の少女像が建立されています。「上海師範大学人文與伝播学院」の中にある「中国慰安婦資料館」を見学しました。

蘇智良先生は「慰安婦」資料をユネスコ記憶遺産登録問題でパリ出張中で、代わって夫人の大学教授が説明してくださいました。韓国で「慰安婦」問題が熱心に取り組まれているのに中国にはほとんど取り組む人がいない。先生は、これではいけないと思って、この問題に夫婦で私財

あと2名以上増やして、前回は上回る状態で総会を迎えたいと奮闘しています。退会のおもな理由は、創立時の世代が高齢化して逝去、病氣、施設への入居、活動の整理などです。世代の交代時期で困難な状況にあり

ますが、ここをどう乗り切るのか試されているとも言えます。やっぱり「世界を知る」面白さ、「日本を変える」希望、これに尽きるのかなあと思います。(事務局長 上田敦子)

福井

「私と日本 AALA の60年」読了! AALA への確信強める会員たち



福井県 AALA はこの4月から毎月1回(約2時間)、報告者を決めて『私と日本 AALA の60年』を学習し、10月に読了しました。参加者は15名です。学習会が継続できたのは、まず福井県 AALA として、学習を重視し、学習会担当理事を決めて長年、月1回の学習会

は欠かさなかったこと。それに毎回終了後に、次回の日時と報告者を決めたことぐらいです。一番の理由は、学習会に出れば、新たな知識を得、視野が広がるという会員の学習意欲を一定、満たしていたことです。

会員の感想の一部を紹介します。「非同盟運動の全体的な流れの概要が理解できました。いま日本国内の状況だけ見ていると、年々閉塞感を覚えるばかりですが、世界に目を向けると、困難の中で自主独立を連

をなげうって6歳の子どもを抱えながら資料を集め、研究をして上海には171カ所の「慰安所」があったという事も明らかになりました。

同資料館には万愛花さんをはじめ中国人「慰安婦」被害者の展示が多くされ息づかいが伝わってきました。上海は最初に「慰安所」が設置された場所で、日本人「慰安婦」も相当数ここにいたのに日本人に関する資料は何もありません。だれ1人日本人「慰安婦」が名乗りを上げていないのは、日本の NGO の活動の反映ではないのかと深く反省しました。私は遅ればせながら、蘇智良先生の夫人のように、日本人「慰安婦」について資料を集め、存在を明らかにしていかなければならない、と決意しました。

帯によって成し遂げてきたことが見えてきます。日本 AALA を立ち上げ、維持してきた人びとの努力を知って希望が湧いてきます。アフリカ諸国の独立支援、ベトナム人民支援、沖縄の状況を世界にアピールするなど、日本政府にできない活動を AALA は一貫してやってきました。福井 AALA もその一翼を担っているのだと自負したい気持ちになりました(中林千代子)「私はこの学習会の中で、バンドン10原則、非同盟諸国首脳会議、TACなど民族自決権を尊重し、物事を軍事力によらずに平和的に解決しようという世界の大きな流れを知りました。また、日本 AALA が、この流れの中で自主独立の立場を堅持して、世界各国の民族自決権確立の運動との積極的な連帯の行動を続けてきたことを知りました。現在の世界は、上記の流れに矛盾・逆流する動きを含んだ複雑な情勢ですが、上記の基本精神が実現する平和な世界になって欲しいものです(広田精利)」

(事務局長 金森洋司)



新潟

市民と野党の共闘で 安倍9条改憲発議の阻止を

新潟県は、先の総選挙で6つのうち、5つの選挙区で「市民と野党の共闘」対「自公と補完勢力」という2極対決構図をつくり、3つの選挙区で野党統一候補が勝利しました。

新潟日報（10月23日付）は大見出しに「野党共闘1強に風穴」「野党共闘の効果証明」と掲げ「野党系が勝利した昨年の参院選、知事選の流れを活かし、衆院選でも『勝利の方程式』が通用することを証明した」と報じました。投票率が9.85ポイント上昇し、無党派の6割前後を野党統一候補が獲得したことにも「市民と野党の共闘」にこそ未来があることが示されました。

比例候補として総選挙をたたかった西澤博さん（新潟AALA役員）は、「Twitterに選挙結果を報告したら、選挙中でも2桁なのに、1380をこえるリツイート（拡散）があり『素晴らしい。新潟県の小選挙区対策を他県も見習うべき』『確かに新潟は本土における民主主義の夜明けかもしれない』など多数のコメントがよせられ、総選挙でも野党共闘で勝利した新潟は、全国の希望になっている」と感想を話しています。

希望の党の結成と民進党の合流という野党共闘の分断という逆流のなかで、県内の民進系候補者5人が誰一人として「希望」には合流しませんでした。

ここには、安保法制阻止のたたかいからはじまり、参院選、新潟



県知事選と発展してきた草の根での野党と市民の共闘の力があつたと思います。

先日三条市で開催された憲法集会では、野党統一候補として圧勝した菊田真紀子衆院議員（4区）が「幅広く共闘をひろげ、9条改

憲阻止へ全力あげる」と力強く決意表明しました。総選挙でうまれた共闘の絆もいかして、市民と野党の共闘を発展させ、安倍9条改憲の発議を阻止するたたかいを広げる決意です。

（事務局長 野沢洋子）

埼玉

いままた いくさの足音が聞こえる

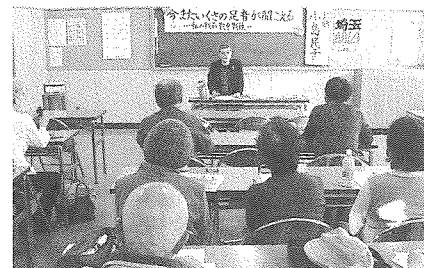
飯能支部の集いで、代表委員の小島民子さん（小島）が講演しました。29名が参加し、「驚くほどの記憶力とすばらしいお話に本当に感動いたしました。生き方やお人柄にも感銘を受けました。先人のお話をきちんとかがうのははじめてです」との感想が寄せられました。以下は要旨です。

（飯能支部長 菅間徹）

* * *

私は1928（昭和3）年、札幌で生まれました。戦前の軍国主義一辺倒の教育を受けました。敗戦直後、男の先生は戦争にとられていたので女の先生の代用教員から研修を重ね「初等科訓導」の資格を得ました。しかし、半年足らずの敗戦のあとで軍国主義教育から民主主義への急激な転換に戸惑い、悩み、ストレスで登校拒否となりました。親友の紹介でご夫妻とも日本からアメリカの大学に留学された大学教授宅の女中を志願し、日常生活を通じて4年間、民主主義を学びふたたび教員として学校に戻りました。

1950年、当時うたごえ運動が



やはり、私もコーラスサークル活動のなかで、大学生の小島義康さん（小島）に出会いました。本当に真面目で、お友達でいられるだけで幸せを感じました。新時代にふさわしく新憲法第24条「婚姻は両性の合意のみに基づいて成立し、夫婦が同等の権利を有することを基本として、相互の協力により、維持されなければならない」と合意し、親の猛反対もありましたが自主的に結婚しました。夫はともに教職に励みながら家庭・出産・育児と協力してくれました。

2人が憲法にそった組合活動に励むなか、半世紀近い実践の途上、夫が急逝しました。1人になりましたが、埼玉AALA、埼玉退教、医療生協など大勢の仲間のおかげで可能な限り夫の意志を引き継ぎたいと思っています。現在は語り部として「憲法を守れ、戦争反対」の話を館林、鎌倉、蓮田、白岡、飯能、計20回出向いています。

「沖縄県民との連帯・支援ツアー」に参加しましょう

2018年2月に名護市長選挙、11月には沖縄県知事選挙がおこなわれます。先の総選挙では沖縄県の1～3小選挙区で市民と野党の統一候補が当選し、県民は辺野古米軍新基地建設にノーの意志を表しました。安倍政権は民意を一顧だにすることなく、護岸工事を知事の許可を得ることなしに強行し、県民の批判と抗議は本土と連帯して広がっています。

羽田空港以外からの出発もできるようにしまし

た。富士国際旅行社に申し込むとき希望の空港を「申込書」にお書きください。富士国際旅行社が対応します。申込み締切日は12月22日（金）です。

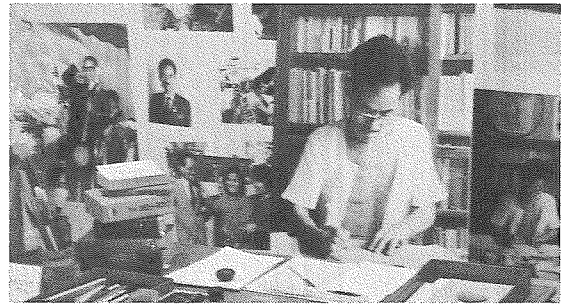
●沖縄連帯カンパを募ります●

振込先 00110-6-72434
日本 AALA 連帯委員会

●おもなスケジュール

2018年1月15日（月）

羽田から那覇空港
不屈館（瀬長亀次郎記念館）
琉球新報博物館
嘉数高台（普天間基地を見学）
旧具志川市昆布（昆布土地を守る会）



不屈館の展示

1月16日（火）

辺野古漁港・ゲート前訪問、大浦湾見学（グラスボート）東村高江、講演会（琉球新報記者の報道の役割について）

1月17日（水）

名護市での連帯・支援活動

1月18日（木）

名護市での連帯・支援活動
（希望者のみ）
オプションツアー
（南部戦跡めぐり）
那覇から羽田空港



日本平和大会・沖縄 名護市長選挙の支援を

■宿泊 15、16日 名護市内ホテル

17日 那覇市内ホテル

■旅行代金 88,000円

参加申込先：富士国際旅行社 03-3357-3377 問い合わせは日本 AALA へ

オスパールコーヒー創立30周年記念

オスパールコーヒー
特別価格のご案内

今年はおスパールコーヒーが1987年9月3日に創立されて30周年の記念の年です。社名は、アジア・アフリカ・ラテンアメリカの3大陸の人民の連帯を願ってつけられました。

1979年、ニカラグアにサンディニスタ民族解放戦線(FSLN)が革新政権を樹立しました。この革新政権の支援と発展を願うべく、ニカラグアで少量しか取れない、

優れた味の豆、「マラゴジペ」を紹介する目的で創立されたものです。

創立の原点を思い、日本 AALA が進める連帯運動の発展とともにあるオスパールコーヒーのご利用をお願いいたします。30周年を記念し、12月25日まで年内特別価格で下記の3銘柄の販売をおこないます。(1袋200グラム)

- マラゴジペ
定価 1320円 → 1000円
- モカウォッシュド
定価 1100円 → 800円
- アルゼンティーナ
定価 1030円 → 780円

お歳暮用ギフトも特別販売しております。

- ギフトセット3点
定価 3370円 → 2610円
- ギフトセット6点
定価 6290円 → 4840円

*別途送料がかかります



ベトナムを訪問し、大学で講演

私たちはAALAの活動を通して、通常のルートでは得られない世界のさまざまな深い情報を得ることができる。草の根の国際交流ということも私にとって重要な楽しみである。

山形県AALAでは、留学生など地域で暮らしている外国人を招いて母国の文化や事情を話してもらったり、3年に1度くらいのペースでツアーを組んで、外国を訪問して直接、外国の人びとと交流す

る機会をもっている。これらは、無上の楽しみである。

2013年11月24日から8日間、13人がベトナムを訪問し、交流をおこなった。このときには、ベトナムが日本から原発を輸入し、建設を進める話が進んでいた。原発事故で苦しんでいる福島県民(私は事故後の2014年4月から福島市へ引っ越した)の実情をハノイ国家大学で学生に講演する機会を持つことができた。講演のタイトルは、「3・11原子力発電所事故から考えるー被災地・福島の現状についてー」とした。学生たちは「事故で苦しんでいる人があるのに再稼働を急いでいるのはなぜですか」「再生可能エネルギーの普及は進んでいますか」など、活発な質問が出され、山形県AALA訪問団との熱心な意見交換がおこなわれた。その後、しば

らくしてベトナム政府の方針として原発推進政策が見直されることになったという情報がもたらされた。

ベトナム日本友好協会を訪問し、ニエム・フー・カイ会長と懇談した際に、ベトナム全土で大規模な日本支援(東日本大震災・福島原発事故)の募金活動が展開されたことを聞いた。今回のベトナム各地を訪問した時に付き添って通訳してくれたナム・アイン君(ハノイ国家大学の学生)は、国際的な支援活動“きずなプロジェクト”で日本を訪問し、石巻市で被災者支援活動に参加したとのことであった。脈々と日本とベトナム人民の国際連帯の精神が息づいていることをしみじみと感じた。AALAは、このような国際連帯活動の重要な基盤となっていると思う。

編集・発行

日本アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会

JAPAN ASIA AFRICA LATIN AMERICA
SOLIDARITY COMMITTEE

住所 〒160-0022 東京都新宿区新宿2-11-7 第33 宮庭ビル4階
電話: 03 (5363) 3470 HomePage <http://www.japan-aala.org/>
FAX: 03 (3357) 6255 E-mail: info@japan-aala.org
振替 00110-6-72434 毎月1回1日発行1部150円(送料62円)